

1 . 件名 : 確率論的リスク評価 ( P R A ) モデルに関する四国電力株式会社、関西電力株式会社及び九州電力株式会社等との面談

2 . 日時 : 令和 3 年 3 月 2 4 日 ( 水 ) 1 3 : 3 0 ~ 1 7 : 1 5

3 . 場所 : 原子力規制庁 1 6 階 A 会議室 ( オンライン開催 )

#### 4 . 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 笠川室長補佐、米林主任検査監視官、沼田主任検査監視官  
技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 秋葉統括技術研究調査官、濱口技術研究調査官、  
小城技術研究調査官、和田山技術研究調査官

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループリーダー 他 2 名

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力安全部門 安全技術グループ リーダー 他 1 名

九州電力株式会社 原子力発電本部

リスク管理・解析グループ 課長 他 2 名

北海道電力株式会社 原子力事業統括部

原子力リスク管理グループ 担当課長 他 3 名

日本原子力発電株式会社 発電管理室

技術・安全グループ 担当

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

炉心・安全技術部 制御安全技術課 主席技師 他 6 名

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 上席特別契約研究員 他 2 名

#### 5 . 要旨

( 1 ) 本年 2 月 1 9 日の面談に引き続き、四国電力株式会社 ( 以下「四国電力」という。 ) は、配布資料 ( 1 ) に基づき、伊方 3 号機のレベル 1 . 5 P R A モデルに関する質問事項について、回答を説明した。

( 2 ) ( 1 ) の説明に引き続き、関西電力株式会社 ( 以下「関西電力」という。 ) 及び九州電力株式会社 ( 以下「九州電力」という。 ) は、大飯発電所 3 / 4 号機及び玄海 3 / 4 号機のレベル 1 . 5 P R A モデルの質問事項に対する回答を説明するとともに、伊方 3 号機のレベル 1 . 5 P R A モデルとの違いを説明した。

( 3 ) 原子力規制庁は、四国電力、関西電力及び九州電力からの回答において、より詳細な説明が必要なものについては、引き続き面談で確認していくこととした。

## 6 . 配布資料

( 1 ) 事業者 P R A モデル ( 伊方 3 号機 ) の適切性の確認のための質問事項 ( その 4 ) への回答 ( レベル 1 . 5 P R A ) ( 四国電力資料 )